日本でも世界でも通用する
インクルーシブな時代にふさわしい支援者になるために

Ver.2024

日本でも世界でも通用する
インクルーシブな時代にふさわしい支援者になるために

Ver.2024

本テーマの目的

これまでの人権研修を振り返りながら、支援者の本質について考えます。

INDEX

導入）障害者がいない国。
病院とは何ですか？　医療の二つの役割
自由と人権、患者の自己決定
まとめ。支援者は善い人か？

1，導入）障害者がいない国。人権の限界

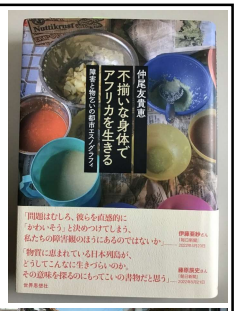
障害者への医療や福祉の制度がないタンザニアでは「障害者」というカテゴリーが存在しない。
当然ながら肢体不自由や知能、発達、等の障害を持った人たちは存在する。

障害者というカテゴリーは、法律や制度または特定の文化によって作られる。

医学的評価モデル

どのように暮らしているか？
2014年から16年にダニエルサラーム（タンザニア最大の都市、人口515万人程）で行われた調査

- ◆ 肢体不自由（麻痺や欠損）・視覚障害や聴覚障害・脳性麻痺・アルビノ
- ◆ 主に物乞いで生計を立てる。誰かの手伝いをする。
- ◆ 特徴（タンザニアにおいて物乞いは正規な職業の一種。（但し障害者が従事することが多い）
- ◆ 特徴（物乞いで大きな家を買い、家族を養っている人もいる。収入も中流より多いことがある）
- ◆ 特徴（多数が地方都市から親族の援助を受けて上京する）田舎では暮らせない。
- ◆ 特徴（物乞いに対する偏見は都市部ではあまりみられない）基本的に友好的
- ◆ 移動（基本的に自力。這って歩くなど）



物乞いは日本では犯罪で、かつ非常に強い能力主義的な解釈を含んでいる。役立たず。怠け。

憲法27条に基づく勤労の義務違反　軽犯罪法第1条22[こじきをし、又はこじきをさせた者]

善意 ⟵「**物乞い**をするが差別がない社会」
制度 ⟵「**年金**で暮らせるが差別がある社会」
富の再分配　あなたはどちらがより理想に近い社会だと思いますか？

制度には市民社会を腐敗させる副作用を持っている

面倒事のアウトソーシング

参考資料　不揃いな身体でアフリカを生きる　中尾友貴恵　世界思想社2022年初版

支援者とは？①病院とは何ですか？社会的統合への最初の一滴

初期の病院形態の基本構成要素

西洋医学　病院
技術　慈善
西洋医学者患者ニーズ
宗教組織社会的統合
研究者であり医師。基本的に訪問診療で研究目的。富裕層が対象
キリスト教修道院が運営。
先生

◆世界初の病院（諸説あります）

- アスクレピオス神殿（古代ギリシャ）
- トルコカエサリア地方の司教が設立。368年
- キリスト教修道院（中世初期、7世紀ごろ）

日本初の西洋医学病院

- 1557年（室町時代）大分県、ルイス・デ・アルメイダが設立した。
  日本初の外科手術
  1586年、島津軍の侵攻により破壊される。

いずれも宗教的信仰に基づいて設立された

その対象は、貧民、無宿者・外国人、孤児と捨て子、ハンセン病患者、老齢者、病人であった。同時代の記述は、貧困者や病人を捨てて顧みないことは、人間に対して非人間的な仕打ちを行って、キリストを恥辱する行為であり、それをしないような仕組みが作られた。
Wikipediaより引用

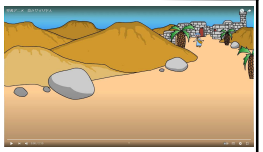
キリスト教が病院を運営した重要な聖書的根拠
「善きサマリア人のたとえ」ルカ10章25節～37節

現代においては「善きサマリア人の法」Good Samaritan lawsとして西洋諸国で法律がある。
＊災害や急病の人に対して善意によって無償で救助する行為を行った場合、例え失敗しても結果責任を問われないという法律。日本には明確な法律はない。

◆「隣人とは誰ですか？」という問いに対するイエスの回答

- 動画のポイント

●追剥にあった人（ユダヤ人）
●助けず去った二人（ユダヤ人祭司）
＊祭司は血に触ることを禁じられている（差別の自己正当化）
●助けた人（サマリヤ人）
＊ユダヤ人とサマリヤ人は敵対関係（敵対を乗り越える）
●助けられたユダヤ人の回心
＊敵対する心から仲間へ



サマリヤ人の物語が病院という場で実践されること。そしてその実践を市民社会が患者として経験し感じ取ることで、サマリヤ人の物語は人々に伝染し市民一人一人の心に吸収され、その個人の更なる実践によって、社会全体に広がってゆく。
そのことによって、医療は本来の意味での公共の福祉を増進させる。
支援者とはその中心となる存在です。

技術（鎖）ではなく個人の人格　社会的統合

治療でも回復でもない医療の役割 ➡ **先生**

先生と呼ばれることを拒まない

参考資料
鈴木晃仁　医学史研究者 東京大学文学部教授「医学史とはどんな学問か」勁草書房WEBコラム
酒井武雄　順天堂大学特任教授「医学全史」筑摩書房

自由も人権も真実ではなく概念であり一種の信仰である

現在の日本社会において、信仰について否定的な意見を持っている人は少なくない。
一方で何も信じていないと言いながら、実は人間は様々な架空世界をあると信じて生きている。

①科学的に「神」はいない

②「信じる」ことの非合理性「信じるとは？証拠もないのにあると考えること」

- 身近な人の死に接した際、その遺体を特定の場所へ移動させようとする。埋葬。
- 私には明日が必ず来るという確信
- 会社・貨幣・社会・時間・未来・将来。すべては架空（概念）でありながら信じている。

神の言葉を教会を通して知る　神の言葉を個人が直接知る　神なき時代の神の代替

キーワードは信頼

自由と自己決定　結論ではなく思考

自由　患者の自由な自己決定とは、患者自身が理性や良心を発揮して自分の意志を考え決定する。

例）やりたいけれども止めておく。気が進まないがやるべきだ。

不自由　本能や欲望、感情の虜となり、理性や良心を十分に発揮できないまま自己決定をする → ニーズの限界

- 返事が早い
- 感情的
- 同じことを繰り返す
- 論理が一貫しない

例）自分本位の判断。自分勝手

支援者とは、不自由な自己決定に寄り添う人

支援者とは技術（鎧）ではなく人格（生身の人間）

不自由な意志による自己決定は、時に本人に対して大きな不利益を与えます。
しかし、たとえそうなることが予測可能であったとしても、自己の意思決定は優先されるべきです。
このことは、人間が作り出した概念であるという事自体に起因する限界。つまり自由の限界なのです。
不利益が実際に本人に及ぼされたときにこそ、本人に寄り添うのが支援者です。

支援者自身が自由な自己決定が出来る人間になる　不自由な自己決定を受け止める。不自由であっても仲間

「ストレス」は人格を成長させる。

まとめ　支援者は良い人？善い人？

良い＝価値が高い＝成績が良い＝能力主義＝人間の領域
善い＝善悪＝行いが善い＝人格＝神の領域

殺人
姦淫

イヴァン・イリイチ
1926年オーストリア生まれの
哲学者・社会批評家・文明批評家

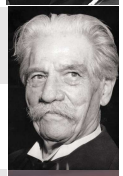
- **イヴァン・イリイチの言葉**

「善」を「良い(価値)」に代え「悪」を「罪」に代えた

生きる希望より引用

価値あるものが必ずしも善いとは言えない。
罪ある者が必ずしも悪とは言えない。

善い人間と価値ある人間の違い



アルベルト・シュバイツァー
1875年フランス生まれ
医師、哲学者、神学者、音楽家
アフリカでの医療奉仕活動
1952年ノーベル平和賞

- **アルベルト・シュバイツァーの言葉**

断じて鈍感になってはならない。我々が葛藤をいよいよ深く体験するならば、
我々は真理の中にある。やましくない良心などは、悪魔の発明である。

アルベルトシュバイツァー文化と倫理から引用

誰かに善いことをしたと褒められたり、自らがそう感じた時こそ、あなたの目の前に落とし穴があります。

人間として到達不可能なもの（善悪の判断）にどう向き合うか？

大江健三郎
1935年愛媛県生まれ
小説家
1994年ノーベル文学賞

- **大江健三郎の言葉**

その中に全てが書かれていながら、生きるとはそれを書き続けることである本

大江健三郎作由返りより引用

善悪があることを分かっていながら、人間にはそれが何か分からない。しかし生きるとはそれについて考え続けることだ。

知りたいと願いながらやり続けること以外に出来ることはありません。

わたしからの遺言

支援者とは？

私は決してあなたに善いことが出来る人間ではありません。
結果として私はあなたを傷つけるかもしれないし、
そうならないかもしれませんが、
私にはその結果がどうなるかはわからないのです。
しかし、私はあなたに手助けをせずにはいられない。
そんな人間なのです。

おせっかい。ウザい。面倒な人。空気が読めない。邪魔。迷惑。

参考資料

日本でも世界でも通用する
インクルーシブな時代にふさわしい支援者になるため
Ver.2024